

## 2022 年度 臨床専門専修科生研修プログラム

講座名	老年歯科補綴学講座
主任教授	上田貴之
プログラム責任者名 (プログラムの管理・運営)	上田貴之
プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定等の名称	①当講座の臨床研修プログラム修了証授与 ②日本補綴歯科学会認定医・専門医 ③日本老年歯科医学会認定医・専門医
研修期間 (入学時期)	研修期間：原則 3 年間 なお、認定医・専門医取得に必要な研修期間は学会により異なる (3 年または 5 年)。 入学時期：原則 4 月
受入れ人数 (総数)	年 5 名程度
指導医	公益社団法人日本補綴歯科学会 指導医：上田貴之、竜 正大 専門医：高野智史 一般社団法人日本老年歯科医学会 指導医：上田貴之、竜 正大 認定医：高野智史、堀部耕広、石田晃裕、齋藤 壮 一般社団法人日本摂食嚥下リハビリテーション学会 認定士：竜 正大 一般社団法人日本サルコペニア・フレイル学会 指導士：竜 正大、堀部耕広
修了の認定要件	当講座規定の臨床研修プログラムの履修および終了症例報告
プログラムの目的	<p>歯科医学の進歩に対応し歯科補綴学や老年歯科医学を中心とした高度な医療を国民に提供でき、また後輩歯科医師、歯科技工士および歯科衛生士を教育することができる歯科医師になることを目的とする。</p> <p>本プログラムは、日本補綴歯科学会認定医および日本老年歯科医学会認定医申請の所要ケースとリンクして作成されている。そのため本プログラムの臨床研修コースを修了すれば、修了証が授与され、かつ日本補綴歯科学会認定医、日本老年歯科医学会認定医の申請資格を満たすことができる。</p>
ユニット	<p>① 基本技能            ② 歯科教育・コミュニケーション</p> <p>③ 歯科補綴学        ④ 老年歯科医学</p> <p>⑤ 顎顔面補綴</p>

一般目標 (GIO)	
日本補綴歯科学会, 日本老年歯科医学会の学会認定資格を取得するために, 必要な知識, 技能, 態度を修得する。	
行動目標 (SBOs)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 適切な治療計画の立案ができる。</li> <li>② 適切な補綴歯科治療ができる。</li> <li>③ 適切な治療結果の評価ができる。</li> <li>④ 適切な口腔機能の評価・管理ができる。</li> <li>⑤ 適切な高齢者の対応ができる。</li> <li>⑥ 専門医に必要な基本的な研究・教育ができる。</li> </ul>	
方略 (LS)	
①臨床講義 ②相互実習 ③老年歯科補綴学講義聴講・実習補助 ④マネキン実習 ⑤臨床症例 ⑥症例報告 ⑦特別講義 ⑧抄読会 ⑨PBL ⑩専門学会参加 ⑪臨床研究 ⑫院外研修 ⑬その他	
評価 (EV)	
形成的評価, 症例報告, 観察記録	
プログラム修了時における学会認定医等の具体的申請基準	
<p>各コースで決められた単位を取得していること。</p> <p>日本補綴歯科学会専門医は, 継続した学会会員歴および研修機関における研修を5年以上, 日本老年歯科医学会認定医は, 継続した学会会員歴および研修機関における研修を3年以上行っていること。</p> <p>詳細は, 各学会の要件を確認のこと。</p> <p>日本補綴歯科学会 <a href="http://www.hotetsu.com/s2_01.html">http://www.hotetsu.com/s2_01.html</a></p> <p>日本老年歯科医学会 <a href="http://www.gerodontology.jp/authorization/">http://www.gerodontology.jp/authorization/</a></p> <p>*各学会の専門医制度は, 一般社団法人日本歯科専門医機構の認定する専門医制度への移行を検討しています。日本補綴歯科学会は移行が決定しており, 日本老年歯科医学会は移行を検討しています。今後, 専門医制度や認定方法等が大幅に変更となることが予想されています。そのため, 認定制度については, 各自で最新の情報を確認してください。不明な点は, お問い合わせください。</p>	
問合せ先	准教授・竜 正大 ( <a href="mailto:ryum@tdc.ac.jp">ryum@tdc.ac.jp</a> )